

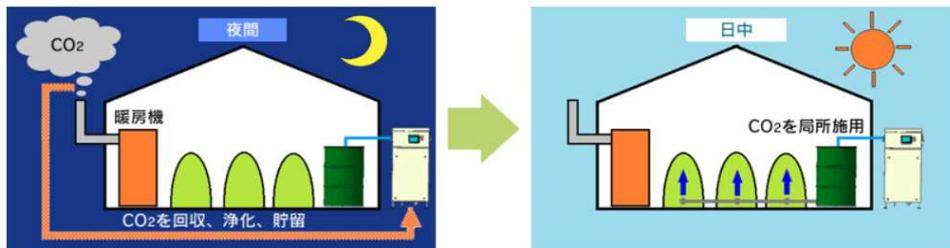
農業ハウス栽培用 CO₂貯留・供給装置を販売

フタバ産業株式会社（本社：愛知県岡崎市、社長：吉貴 寛良）は、ハウス栽培用CO₂貯留・供給装置を開発し、昨年、試験販売を実施しました。

2017年11月から、農業ブランドを「agleaf（アグリーフ）」と命名し、一般販売を開始します。生産は、フタバ産業 幸田工場（愛知県額田郡）にて行います。

農業のハウス栽培では冬季や夜間に、暖房のため燃焼式暖房機を稼働させています。また一方で、日中には光合成を促進するために、燃料を燃焼させCO₂を発生させています。

当社の製品は、夜間に燃焼式暖房機の排気ガスを回収・浄化して、CO₂を貯留し、日中に光合成促進のために再利用します。



装置のイメージ図

製品の主な特徴とメリットは以下の通りです。

1. ランニングコストが安く、省エネに貢献

排気ガスとして捨てられているCO₂を再利用するため、新たにCO₂を発生させる燃料を必要としません。

2. 浄化されたクリーンなCO₂。食の安心・安全にも貢献

燃焼式暖房機の燃料(A重油)の排気ガスを、高いレベルで浄化し、有害成分のNO_x、SO_x、COなどを取り除いた極めてクリーンなCO₂を栽培に利用できます。

3. 常温まで冷えたCO₂により、効率の良い施用が可能

再利用するCO₂は常温まで冷えているため、CO₂の施用によりハウス内の温度(環境)を変化させる事はありません。常温のCO₂は作物の株元や群落内に施用(局所施用)する事が可能となり、効率良くCO₂の施用ができます。

当社はこれからも省資源、省エネ、リサイクル促進などに積極的に取り組み、環境に優しい社会を実現するため、自動車分野に加え、農業分野でも貢献してまいります。



農業ブランド「agleaf（アグリーフ）」

<名前の由来>

農業を意味する「アグリ」とフタバをイメージできる「リーフ」から作った造語です。CO₂を葉っぱ「リーフ」から取り入れて光合成を促進する装置のイメージも含んでいます。



「CO₂貯留・供給装置」
制御ユニットと貯留タンクユニット

詳細については、下記URLをご参照ください。

<http://www.futabasangyo.com/cultivation/>

(製品に関するお問合せ先)

担当：技術本部 新規事業開発課 丹羽 (TEL: 0564-56-0506)

担当：広報室 井上・藤井 (TEL: 0564-31-2211)